

## 聖路加国際病院 2020年度第1回医療安全監査委員会 監査結果概要

※ 7月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議室に集合しての開催ではなく、メール会議に変更して開催した。

委員：

- 相馬孝博（千葉大学医学部附属病院 医療安全担当副院長 医療安全管理部部長）
- 渡邊 俊太郎（翼法律事務所 弁護士）
- 小林 信秋（認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク）
- 七里 守（榊原記念病院 循環器内科 主任部長）
- 滝沢 牧子（群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 助教）

### 1、監査事項

報告資料に基づき7つの議題の報告と、配布資料により2つの会議の議事録が共有された。それらについて委員からメールで評価と助言・提言がなされた。

#### ◆ 報告資料

- ・ 前回委員会での助言・提言に対する当院の対応状況について
- ・ 医療放射線安全管理責任者について
- ・ 医療安全管理室専従スタッフによる医療安全ラウンドの開始について
- ・ 医療安全業務改善計画書について
- ・ COVID-19患者急変対応の学習コンテンツ開講について
- ・ 医療看護安全情報の常時公開と周知率向上への取り組みについて
- ・ 匿名で疑義や懸念を表明できる仕組みについて

#### ◆ 配布資料

- ・ セーフティマネジメント委員会（法令上の「医療に係る安全のための委員会」に該当）議事録 2019年8月～2020年6月分
- ・ 重大インシデントの関係者ミーティング議事録

### 2、評価と助言・提言

- ・ 医療安全業務改善計画書の具体例として実習生が関与した事例が挙げられているが、実習生の業務（どこまでを実習として可能かなど）について病院全体で統一したマニュアルがあるか。現状を調査・把握し、必要に応じて改善するとよい。
- ・ 医療看護安全情報の周知率向上への取り組みによる事故防止効果を評価する仕組みがあるとよい。
- ・ 匿名で疑義や懸念を表明できる仕組みについて、通報先と対応フローを職員に明示するとよい。
- ・ 匿名で疑義や懸念を表明できる仕組みについて、必須入力項目を再検討し、通報者の特定・推察を不可能にするための配慮をするとよい。
- ・ 重大インシデントの会議録として、発言録、議事録に加えて院長への報告書を作成するとよい。

以上